

## 東京・ふるさとショップ探訪

〔第9回〕

## 百貨店にオープンした「食と関連雑貨」の新たな挑戦「武蔵野マルシェ」

地方の名産品、ライブ感の発信と地域PR

✦ 文 山田 稔 Text by Minoru Yamada ✦



「吉祥寺」なFood&Zakka 武蔵野マルシェ  
東京都武蔵野市吉祥寺本町2-3-1 東急百貨店吉祥寺店3階  
<https://www.tokyu-dept.co.jp/kichijouji/news/detail.html?id=130>

「住みたい街」人気上位の吉祥寺（武蔵野市）にはかつて伊勢丹、近鉄百貨店、東急百貨店と3つの百貨店があり、それぞれの個性を生かして街に彩りを添えていたが、近鉄百貨店、伊勢丹が閉店して、今では東急百貨店が残るのみ。諸行無常の世界である。

唯一残った東急百貨店吉祥寺店に2018年5月「吉祥寺」なFood & Zakka 武蔵野マルシェがオープンした。3階の1フロアに「北海道さんこプラザ」などのアンテナショップや、全国各地の食の逸品を揃えた「久世福商店」、武蔵野エリアの食品や雑貨店、期間限定出店の

「地産マルシェ」、カフェなどが展開。バラエティあふれる構成となっている。百貨店内のオシャレなふるさと商店街“といった趣だ。

オープンの狙いについて東急百貨店の広報担当者に聞いた。

「吉祥寺店での物産展催事の人氣が高いことや中層階での食物販の実績などを踏まえて、食と関連雑貨“の全く新しいフロアをオープンさせました。他の施設にはないフロアづくりで、従来のお客さまに楽しんでいただけて、新しいお客さまにもいらっしやっていただけることを目指しました」

「食」を中心に「地方の物産・名産品の集積」や「ライブ感」を発信し、地域の創生・支援、地域PR機能を備えた全国津々浦々の伝統食と雑貨、エリアに強いブランドとロイヤリティのある武蔵野エリアの名店と雑貨を展開することで、常連客だけでなく新規客も取り込もうということだ。

オープンから半年以上が経ったが、顧客の反応はどうか。

「新しい取り組みに興味を持っていただいています。食品への関心が高いですね。新しいフロアができたことで入店客数が増え、気軽に見て回る楽しさで武蔵野マルシェの滞留時間も増えています」（広報担当者）

3月は、三鷹を中心にインテリアショップやカフェなどを展開する「デイリーズ」が出店する。全国各地の食と雑貨の逸品が揃うだけでなく、武蔵野エリアの優れモノにも出会える。地域に根ざした百貨店の新たな挑戦に注目したい。



## profile

1960年生まれ長野県出身。日刊ゲンダイ経済編集部長、広告局次長を経て独立。編集工房レーヴ代表。著書に「酒と温泉を楽しむ[B級]山歩き」(光文社知恵の森文庫)、「分煙社会のススメ。」(光文社)など。「美楽」創刊時に山歩きエッセイを連載。